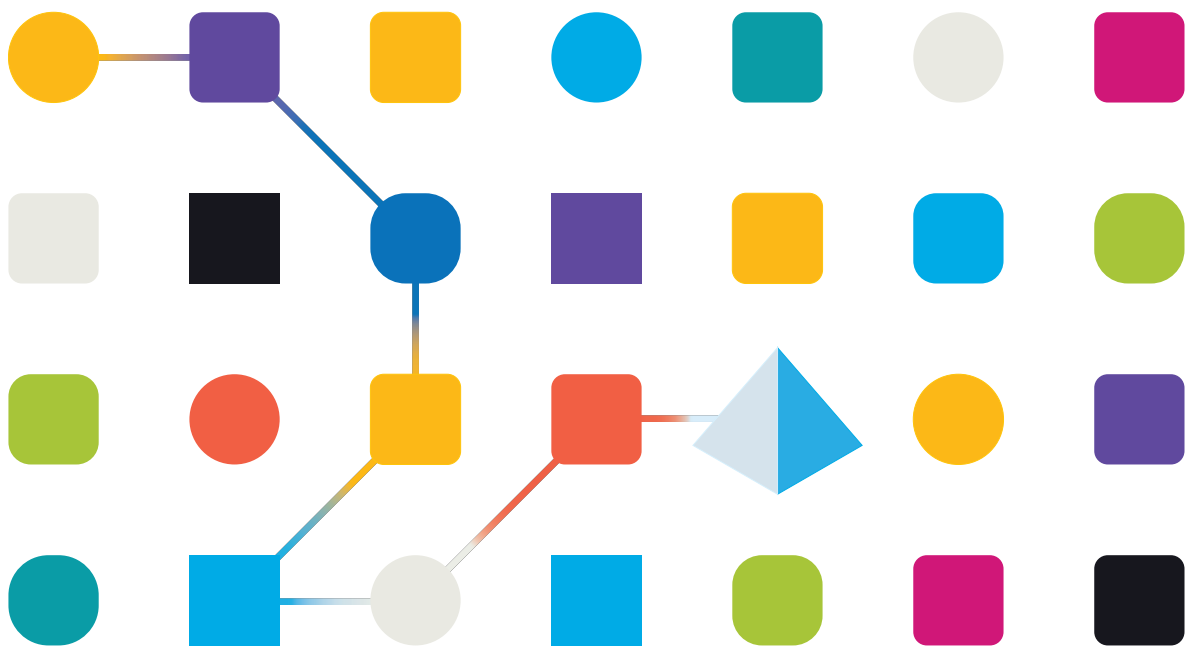


# blueprism<sup>®</sup>

Blue Prism Hub 4.6

ユーザーガイド

Document Revision: 1.0



## 商標および著作権

本ガイドに記載されている情報は、Blue Prism Limitedおよび/またはその関係会社が独占的に所有する機密情報であり、権限を与えられたBlue Prism担当者の書面による同意なしに、第三者に開示してはなりません。本文書のいかなる部分も、複写機などの電子的あるいは機械的な形式や手段を問わず、Blue Prism Limitedまたはその関係会社の書面による許可を得ることなく、複製または送信してはなりません。

### © Blue Prism Limited 2001 – 2022

Blue Prism、Blue Prismのロゴ、およびPrismデバイスは、Blue Prism Limitedおよびその関係会社の商標または登録商標です。All Rights Reserved.

その他のすべての商標は本文書によって確認され、各所有者のために使用されています。

Blue Prism Limitedおよびその関係会社は、本ガイドで言及する外部Webサイトの内容に関して、責任を負いません。

Blue Prism Limited, 2 Cinnamon Park, Crab Lane, Warrington, WA2 0XP, United Kingdom。  
英国で登録:登録番号4260035。電話:+44 370 879 3000。Web:[www.blueprism.com](http://www.blueprism.com)

## 内容

Hub .....	4
対象者 .....	4
プロフィール .....	5
プロフィールを変更する .....	5
パスワードを変更する .....	5
Hubを使用する .....	6
ローカリゼーション .....	6
ダッシュボード .....	6
Automation Lifecycle Managementプラグイン .....	10
Control Roomプラグイン .....	11
Decisionプラグイン .....	11
Interactプラグイン .....	12
ログアウト .....	12

## Hub

Blue Prismは、クラウド、ロボティックプロセスオートメーション(RPA)、人工知能(AI)の原理を統合し、知識ベースの作業を自動化してデジタル化します。Digital Workersは、ビジネスオペレーションに導入され、人がビジネスシステムを使用する方法、意思決定方法、従うプロセスをエミュレートして、手動作業のプロセスを拡張、置換、デジタル化することで機能します。

組織におけるDigital Workforceの環境が成熟するにつれ、事業者とスポンサーは、自動化への投資を管理するためにアプローチと方法論を拡張する必要があります。Digital Workforceに関する管理情報は、ビジネス全体で透明性があり、直感的に解釈できる必要があります。さらに業界標準との整合性を確保するために、ベストプラクティスを監視する必要もあります。Blue Prism® Hubは、Blue Prismの新規および既存のユーザーに、自動化ライフサイクルの管理のための生産性プラットフォームを提供します。Hubは、ロボティックオペレーティングモデル(ROM)内の個々の役割に一連の機能を提供し、自動化戦略を成功させ、拡張可能な形で実行できるようにします。

Hubは、一連のプラグインや機能によって組み込まれる、小さな「空の」アプリケーションとして作成されています。これはプラグインアーキテクチャと呼ばれるものを形成します。これにより、Blue Prismチームは機能をイテレーションし、Hub管理者が使用できるものにします。

各Hubインスタンスには、管理者が新しいプラグインを表示およびデプロイしたり、既存のプラグインを更新したりできる [プラグインリポジトリ](#) ページがあります。

## 対象者

このガイドではHubユーザーを対象に、Blue Prism Hubの使用に関する簡単な概要を説明します。プラグインの使用の詳細については、特定のプラグインのユーザーガイドを参照してください。


- [ALMユーザーガイド](#)
- [Control Roomユーザーガイド](#)
- [Decisionユーザーガイド](#)
- [Interactプラグインユーザーガイド](#)
- [Wireframerユーザーガイド](#)

## プロフィール


プロフィール設定では、情報およびHubの表示設定を変更できます。変更できるプロフィール設定は、アカウントに構成されている認証タイプによって異なります。ネイティブユーザーの場合、以下を変更できます。

- パスワード。
- プロフィールの姓名。
- メールアドレス。
- プロフィール画像 – プロファイルアイコンに表示されます。この画像はHubでのみ使用されます。
- Hubの表示テーマ - ダークまたはライト。

HubアカウントがActive Directory認証を使用するように構成されている場合、プロフィール写真とHub表示テーマのみを変更できます。その他すべての設定はActive Directoryで管理され、Hubにログインするか、Hub管理者によって手動で同期されると更新されます。


 認証タイプに関係なく、ユーザー名を変更することはできません。

認証タイプの詳細については、「[認証設定](#)」を参照してください。

 [プロフィール](#) ページを開くには、プロフィールアイコンをクリックすると [プロフィール](#) ページが表示されます。

## プロフィールを変更する

1. [プロフィール](#) ページで、[編集](#) をクリックします。  
[プロフィール](#) ページが編集可能になり、[編集](#) ボタンが [キャンセル](#) ボタンに変わり、フィールドが編集可能になります。
2. 必要に応じて、以下を更新します。
  - 名、姓、またはメールアドレスを更新します。
  - [ダークテーマ](#) のオンとオフを切り替えます。デフォルトでは、Hubはライトテーマで表示されます。
  - [アップロード](#) をクリックして、プロフィール画像を選択します。画像がプリズムアイコン内に表示されます。画像のサイズは1MBを超えることはできません。
3. 変更を保存するには、[保存](#) をクリックします。変更を保存しない場合は、[キャンセル](#) をクリックします。

 [保存](#) ボタンは、テーマ設定に変更を加えた後にのみ有効になります。

## パスワードを変更する

1. [プロフィール](#) ページで、[パスワードを更新](#) をクリックします。  
[パスワードを更新](#) ダイアログが表示されます。
2. 現在のパスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを入力し、繰り返します。
4. [更新](#) をクリックします。  
パスワードは変更されました。

## Hubを使用する

このセクションではHubのユーザー機能について詳しく説明します。ユーザーが表示、アクセスできるものは、割り当てられた役割によって決まります。プラグインは役割に割り当てられ、次いでユーザーが特定の役割に割り当てられて、プラグインが継承されます。

このトピックでは以下を説明します。

- ローカリゼーション
- ダッシュボード
- Automation Lifecycle Managementプラグイン
- Control Roomプラグイン
- Decisionプラグイン
- Interactプラグイン
- ログアウト

### ローカリゼーション

Authentication Serverのログインページを開くと、Webブラウザからローカリゼーション設定が自動的に適用されます。ログインページとHubは、ブラウザで設定された言語設定と最も互換性のある言語で表示されます。ブラウザ設定で選択した言語がサポートされていない場合は、英語がデフォルトとして使用されます。必要に応じて、ログインページのドロップダウンリストから使用する言語を手動で変更できます。サポートされている言語は次のとおりです。

- 英語(米国)
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- スペイン語(中南米)(スペイン語 – 中南米)
- 簡体字中国語

### ダッシュボード

最初にHubを起動すると、デフォルトの表示は空白のHubダッシュボードになります。これは、Hub管理者または標準Hubユーザーのいずれでも同じです。

ダッシュボードは、自動化プロセスをカスタマイズして表示する構成設定可能なページです。ダッシュボードに表示される情報を構成するには、[ウィジェットを追加](#)します。また、利用可能な情報の異なるビューを表現する複数のダッシュボードを作成して、自動化を効率的に管理することもできます。

### ダッシュボードを作成する

1. [\[ダッシュボード\]](#) ページで [\[ダッシュボードを作成\]](#) をクリックします。
2. ダッシュボードの名前と説明を入力します。
3. [\[保存\]](#) をクリックします。

ダッシュボードが作成されたことを確認する通知メッセージが表示されます。これで、ダッシュボードに[ウィジェットを追加](#)する準備ができました。

## ウィジェットを追加する

ウィジェットは、さまざまな種類の情報を視覚的に表示するために使用できるダッシュボードコンポーネントです。[ビジネスプロセスの概要]ウィジェットがその例です。各ダッシュボードには最大20個のウィジェットを追加できません。

1. [ウィジェットを追加]をクリックして、使用可能なウィジェットのリストを表示します。
2. ウィジェットの詳細を表示するには、[情報]ボタンをクリックします。

ウィジェットに関する情報が表示されます。たとえば、次のようになります。



詳細ウィンドウを閉じるには [キャンセル]をクリックします。

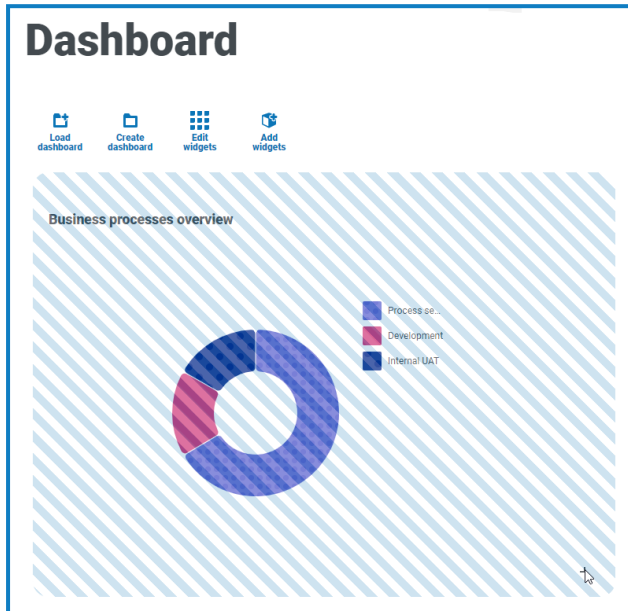
3. ウィジェット名をクリックして、ダッシュボードに追加します。

ウィジェットがダッシュボードに表示され、成功メッセージが表示されます。

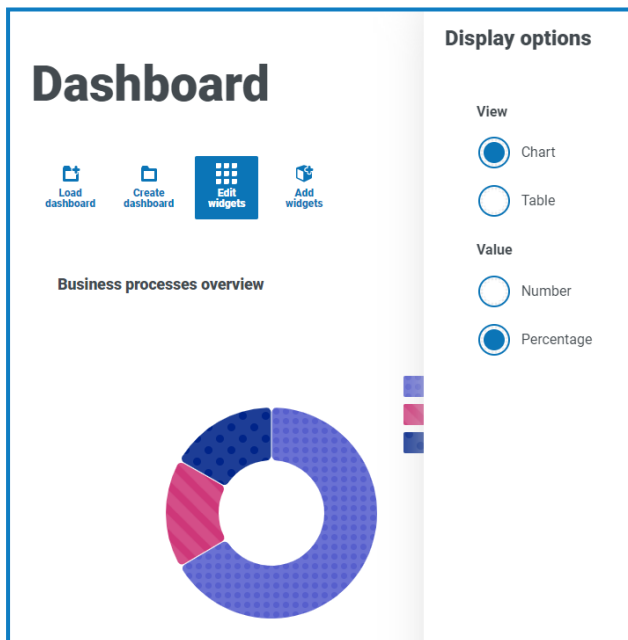
## ウィジェットを構成する

ウィジェットには、以下を行うことができます。

- **移動とサイズ変更** – ダッシュボード上の必要な位置にドラッグアンドドロップして、ウィジェットを移動します。また、ウィジェットのサイズは、右下隅「**✎**」をクリックしてつかみドラッグして必要なサイズに合わせることができます。



- **カスタマイズ** – ウィジェットの多くはカスタマイズ可能です。[**ウィジェットを編集**]をクリックし、必要なプラグインの横にある **オプション**]をクリックします。



## ウィジェットを削除する

1. [**ウィジェットを編集**]をクリックします。
2. 目的のウィジェットで **削除**]をクリックします。  
ウィジェットがダッシュボードから削除されます。




## 表示されるダッシュボードを変更する

1. [ダッシュボード] ページで、**[ダッシュボードを読み込む]** をクリックします。  
使用可能なダッシュボードのリストが表示されます。
2. 目的のダッシュボードをクリックします。  
[ダッシュボード] ページが、選択したダッシュボードで更新されます。

## ダッシュボードを削除する

1. [ダッシュボード] ページで、**[ダッシュボードを読み込む]** をクリックします。  
使用可能なダッシュボードのリストが表示されます。
2. 目的のダッシュボードに対して削除アイコンをクリックします。  
確認を求めるメッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックしてダッシュボードを削除します。  
ダッシュボードが削除されたことを確認する通知メッセージが表示されます。

## Automation Lifecycle Managementプラグイン

 Automation Lifecycle Managementプラグインは、操作に追加のライセンスキーを必要とするオプションサービスです。Automation Lifecycle Managementプラグインには、Business Processコンポーネントも含まれています。これは自由に使用できる、Interactフォームに必要なコンポーネントです。

Blue Prism Digital Workersは、比類のないスキルと能力を提供し、新しいリリースごとにさらなるユースケースに対応していきます。性能も重要ですが、Blue Prismでは導入サイクルの間の使いやすさを同じように検討し、企業にガードレールが提供されベストプラクティスを確実に満たすことができます。

Hub内でBlue PrismのAutomation Lifecycle Management( ALM) 機能を使用することで、RPA/IAへの移行の初期段階にある企業は、アプリケーション主導のコントロールのメリットを得て、デリバリーの成功の主なマイルストーンを確実に達成できます。


ALMプラグインは、ビジネスアナリストが以下を行うためのフレームワークを提供します。

- ビジネスプロセスのプロセス定義を把握する
- 一貫した方法で例外処理を行う
- プロセス構造をレビューし、承認する。

さらにALMにはWireframerが含まれており、ビジネスオブジェクトとアクションを、ベストプラクティス技術を使用して効率的に定義します。これは、自動化プロセスの一部として使用できます。この方法論を使用して設計する利点は、自動化されるビジネスプロセスの構造を形成するビジネスオブジェクトとアクションを開発者が迅速にデプロイできることです。

詳細については「[ALMユーザーガイド](#)」と「[Wireframerユーザーガイド](#)」を参照してください。

## Control Roomプラグイン

 Control Roomプラグインは、自由に使用できるオプションのサービスです。Control RoomプラグインはBlue Prism 7.0以降と互換性があり、Blue Prism APIが必要です。

Control Roomプラグインを使用すると、WebクライアントでDigital Workforceを監視し、スケジュールを実行できます。次の機能があります：


- **ワークキュー** – ワークキュー項目のステータスを監視し、キューアクティビティを追跡します。
- **セッション** – 環境内のセッションアクティビティを表示、フィルタリング、整理します。
- **スケジュールアクティビティ** – 各環境で実行されるスケジュールのステータスを監視し、データをフィルタリングして、ユーザー定義ビューを作成します。
- **スケジュールマネージャー** – スケジュールを管理、作成、変更し、ユーザー定義ビューを使用してアクティビティを管理します。
- **Digital Workerの健全性** – 環境内のDigital Workersを表示、監視します。

またControl Roomプラグインには、**ダッシュボードウィジェット** が多数用意されています。ダッシュボードウィジェットは、Blue Prism環境を一目で監視するために適用、カスタマイズできます。以下のものがあります。

- **月次使用率ダイアリー** – 1か月の各日におけるDigital Workforceの利用状況を表示できます。
- **使用率チャート** – Digital Workforceの使用率の効率を表示できます。
- **使用率ヒートマップ** – Digital Workforceのアクティビティのパターン、ピーク、落ち込みを表示できます。
- **ワークキューの構成** – ワークキュー全体のワークキュー項目の構成を表示できます。

詳細については「[Control Roomユーザーガイド](#)」を参照してください。

## Decisionプラグイン


 Decisionプラグインは、運用に追加のライセンスキーを必要とするオプションサービスです。

Blue Prism Decisionを使用すると、Digital Workforce内でインテリジェントな機械学習の意思決定モデルをトレーニングおよびデプロイできます。データサイエンスの専門知識は不要です。Blue Prism Decisionのシンプルで直感的なユーザーインターフェイスを使用すると、以下ができるようになります。

- **モデルの定義** – タイトル、説明、判断タイプ、判断変数を追加します。
- **モデルのトレーニング** – モデルサービスが指定した定義済みの入力変数に基づいたアクティブラーニングを使用します。統計的に精度が高い機械学習モデルを作成するためにデータサイエンスの知識が必要とされることはありません。
- **モデルの調整** – モデルの入力と結果の予測をレビューし、必要に応じてモデルの判断を上書きします。

詳細については、「[Decisionユーザーガイド](#)」を参照してください。

## Interactプラグイン

 Interactプラグインはオプションのサービスで、操作に追加のライセンスキーが必要です。またこのサービスはInteractサービスの一部を構成します。


Digital Workforceがエンタープライズの参照可能な使用事例を展開するにつれ、Digital Workersとユーザーがビジネスプロセスのエンドツーエンドの実行においてコラボレーションする必要性が一層高まっています。また、リソースに対応できる人に対する柔軟性を提供するには、Digital Workforceに仕事を割り当てる革新的な方法が必要です。Blue Prism Interactは、新規および既存のBlue Prismユーザーに、ビジネスプロセス内のDigital Workforceとのエンドユーザーインタラクションのためのコラボレーションインターフェイスを提供します。ビジネスプロセスに関連するさまざまな作業を開始、確認、受信、認証します。また、Blue Prism Interactは、ノーコードのフォームデザイナーを使用するか、Blue Prismビジュアルビジネスオブジェクト (VBO) を使用してビジネスプロセス要件に基づいてフォームを作成することで、ユーザーは動的なWebインターフェイスを作成できるようになるため、必要なスキル基準を減らすことができます。

Blue Prism Interactの機能は、2つのBlue Prismコンポーネントに分割されています。1つめは、開発者がHubとフォームプラグインを使用して、エンドユーザーが利用できるフォームを作成および公開できる機能です。2つめは、公開されたフォームを使用してDigital Workforceと連携できるエンドユーザーインターフェイスです。

詳細については、「[Interact プラグインユーザーガイド](#)」を参照してください。

## ログアウト

**ログアウト** ] をクリックしてHubからログアウトします。

 Interactを使用する場合、Interact Webアプリケーションからもログアウトします。

